



地域ニュース 10月号 第332号

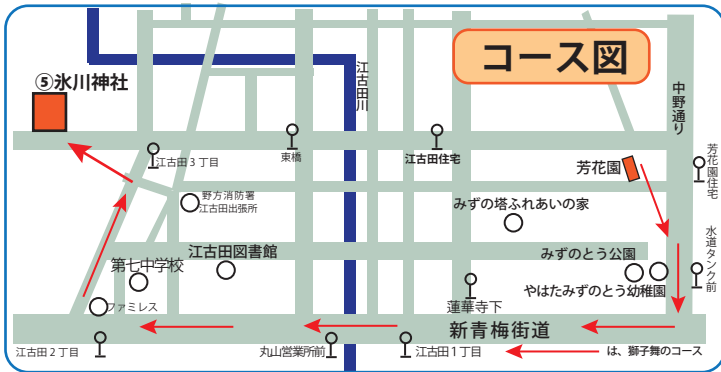
発行 江古田区民活動センター運営委員会
 住所 〒165-0023 中野区江原町 2-3-15
 電話 3954-6963
 FAX 3954-6964
 E-mail: nakano_egota@lagoon.ocn.ne.jp
<http://www.nakano-egota.gr.jp>

10月開催 江古田地区きつりスケジュール	
28日(金)	ゲートボール大会
23日(日)	芸能祭・お茶会・コーヒーシヨップ
22日(土)・23日(日)	作品展 模擬店
22日(土)	ダンスパーティー
15日(土)	コロニー祭
2日(日)	江古田獅子舞



中野区指定無形民俗文化財 江古田獅子舞

第41回 江古田地区まつり



10月2日(日) 江古田獅子舞
 【会場】江古田氷川神社ほか
 獅子舞行列は、正午に芳花園出発、午後2時頃江古田氷川神社到着(コース図参照・雨天中止)。以後夜まで境内にて奉納舞。
 ※今年は10月1日(土)の宵宮(町内廻り)は行いません。
 【主催】江古田獅子舞保存会
10月15日(土) コロニー祭
 模擬店、ダンス・コンサート等
 【時間】午前10時〜午後3時
 【会場・問合せ】コロニー中野(江原町2-6-7) 39541
 ☎(3953) 3541



ダンスパーティー
 クラリネット奏者田村基央さんの生演奏があります。
 【時間】午後1時30分〜3時30分
 【参加費】1000円(お茶菓子代)
 ※ダンスシューズまたは室内運動靴をご用意ください。女性の方はヒールカバーをご使用ください。

10月22日(土) こどもまつり
 木工作、生け花体験、リサイクル工作、古本市等。幼児から参加できます(幼児は保護者同伴)。靴や木工作品などを入れる袋をお持ちください。
 詳細はポスター・チラシにて
 【時間】午後1時30分〜午後4時
 ※古本を集めています。子ども向けの絵本等ありましたら、寄付にご協力をお願いします。当日のボランティアも募集中です。
10月22日(土)・23日(日) 作品展
 絵手紙・俳句・手芸・和服リフォーム・生け花・吊るし雛・書道・地域団体活動紹介などの展示と手作りワークショップ
 【時間】午前10時〜午後4時30分(23日は午後4時まで)



模擬店

おしるこ (22日)
カレーライス (23日) など
【時間】 午前11時〜午後2時

芸能祭

10月23日 (日)
舞踊、カラオケ、詩吟、フラダンス、コーラス、童謡、など。
【時間】 午前10時〜午後4時30分

お茶会

和室で本格的な茶の湯体験 (表千家) をどうぞ。
お茶券 (500円) は、江古田区民活動センターで10月3日 (月) から前売り、50人限定
【時間】 午前11時〜午後3時

コーヒーショップ

【時間】 午前11時〜午後3時

消防相談・体験コーナー

野方消防署江古田出張所による消防についての相談コーナーを開設します。
【時間】 午前10時〜午後3時

介護相談コーナー

中野北地域包括支援センターの協力による介護相談です。
【時間】 午前11時〜午後3時

ゲートボール大会

10月28日 (金)
江古田地区の老人クラブなどの対抗戦が行われます。
【時間】 午前8時45分〜午後3時
【会場】 江原公園 (江原町1-15)

第3回中野区検定

【日時】 11月27日 (日)
午前10時集合 (受付9時30分)
【場所】 中野区産業振興センター (中野2-13-14)
【資格】 小学校5年生以上の方 (先着100名)
※事前申込みおよび受験料が必要です。詳細はお問い合わせを
【主催・問合せ】 (公財) 中野区教育振興会
☎ (32228) 5544

消防署庁舎開放のお知らせ

今年もやります、庁舎開放!! お子さんを連れて消防署に遊びに来てみませんか?
普段はなかなか乗れない消防車に乗ってみよう!
消防服を着てみよう、AEDに触ってみよう、消火器を使ってみよう!
【場所】 野方消防署江古田出張所 (江古田2-2-7)
【日時】 10月2日 (日) 午前10時〜午後3時
【問合せ】 野方消防署江古田出張所 ☎ (3389) 0119

中野区クイズ

(1) 中野区を流れていない川はどれですか?
ア. 神田川 イ. 江古田川
ウ. 妙正寺川 エ. 目黒川 オ. 善福寺川
(2) 三波春夫が住んでいた「御殿」の脇の道路は通称で何と呼ばれていましたか?
ア. おけさ小路 イ. オリソピック通り ウ. 太鼓通り エ. ちゃんちき通り オ. 船方通り
(解答は4面・中野区検定過去問題より抜粋)

哲学堂公園物語 (二)

文明の役と江古田・沼袋原の戦い
源頼朝の時代(一一九〇年代)より一三〇年後、江戸城を建てた太田道灌と練馬、豊島、板橋に強大な勢力を築いていた豊島氏との戦い(文明の役一四七二年)まで歴史に和田山の記録はありません。

太田道灌の軍勢は、練馬の城から来た豊島氏の軍勢と戦い、と続きます。

秋の古建築物公開

中野区の有形文化財であり、普段は非公開の古建築物群(六賢台、宇宙館、無尽蔵、絶対城)の内部公開を行います。
宇宙館では哲学堂公園の紹介映像を上映。

その後黒猫の招くままに落合の自性院に移動し翌朝和田山付近に進んでいた豊島の軍を攻め、江古田が原の戦いで豊島氏は逃走、滅亡するが、落合の自性院は猫寺として語り継がれ、江古田原の戦いは、江古田公園の古戦場の石碑や沼袋の丸山塚をはじめとする戦いの遺跡が数多く存在しています。
ここから更に五百年を経て、明治時代の「哲学堂」の創設に

※四聖堂は改修工事のため観覧できません。絶対城は入場を規制しています。
【日時】 10月の土日祝日
午前9時〜午後4時
11月3日 (祝・木)、
11月5日 (土)、11月6日 (日)
午前10時〜午後3時

【場所】 哲学堂公園 時空間

哲学堂公園の10月の催し物をご紹介します

野球場
管理事務所
時空間
宇宙館
絶対城
無尽蔵
六賢台

江古田獅子舞の由来

元、江古田村小字本村に鎮座してあった御嶽神社の獅子舞を謂うもので、この御嶽神社が社僧に当たった。現在の江古田の金峯山世尊院東福寺は武洲御嶽神社の社僧金峯山世尊寺の鈴額院開基源教上人の勸化により、江古田の郷土堀野二郎左衛門が建久3年(750年前)に建立したものである。

現今、獅子舞が行われる江古田の氷川神社は、百二代御花園天皇の御宇寛正元年(四百八十五年)に創建されたもので、武蔵風土記稿に鎌倉大草紙の文明八年四月十三日太田道灌が豊島勘解申左衛門と江古田原沼袋に戦った記事があるが、この戦いの時太田道灌は当社に賽し戦勝を祈願したという。

江古田の獅子舞は鎌倉の初期に御嶽神社と東福寺に始められた、田楽法師によって舞われた田楽舞の内のもので、爾来七百余年間、その服装と演出において伝統と格式は少しも崩していない。徳川幕政の頃江古田東福寺に將軍御成の場合御膳所であったことが官務秘録に記載され、東福寺には最近まで「御

成の間」という一段高い座敷が残っていた。

江古田一丁目の熊沢宗一氏のところにある正保の頃の古図には(元片山村)御成道と赤線で印され、正保年間に三代將軍家光公が江古田辺に鷹狩に来た時獅子舞の上覧をうけた。

その後、雑司谷鬼子母神境内の大行院にて尾張侯、清水侯紀州侯の上覧をうけ、その折には獅子舞の道具一切を櫃に入れて担いで行ったのであるが、唐櫃につけた「御用」の木札が現在も保存されている。この御用札は「べた御用」といって如何なる場合でも獅子舞の荷物につける事が許されるという格式の高いものであった

御用札(下の写真)

氷川神社祭礼の時、東福寺境内で行う獅子舞に「御用」と書いた高張提灯を掲げられるのは、当時としては実に破格の特権であって三代將軍上覧の獅子舞という由緒によって、幕府から特に許されていたものであることを物語っている。

天保四年に田安侯は江古田の名主山崎喜兵衛の別邸で獅子舞を上覧した。

明治二十二年二月十一日、憲法発布祝賀のため靖国神社前に獅子舞を奉納、昭和七年に中野区郷土芸術代表として中央放送

局から獅子笛と太鼓を全国に放送、昭和八年十一月四日明治神宮大祭の際神前で獅子舞を奉納し、その後も十数回各所に出演、いずれも好評を博した。
※堀野良之助著
「回想」
(昭和36年12月発行)より抜粋
※写真の御用札は、山崎家で所有しており、現在は歴史民俗資料館に寄贈されています。公開される時もあります。



資源ゴミ「持ち去りパトロール」

江古田一丁目町会による資源ゴミ持ち去りパトロールを7月18日(月)午前7時30分〜8時30分に実施しました。
特に雑誌関係を中心に持ち去りが横行し、町会の運営費に影響が出ています。



手作りランチに舌鼓：第25回せいしゅん亭

今年のテーマは『歩(あゆみ)』、会場には江原幼稚園児たちの絵、30数年前の『江原小学校』と『江古田・氷川神社の獅子舞』そして2001年に生まれた子供の6年間の成長の歩みが展示されました。

コンサートは午前10時から始まり、歌、踊り、楽器演奏、パノド、詩吟、寸劇、ファッションショーが披露され、午後2時過ぎに終演となりました。健康コーナーの検査では血管年齢56人・咀嚼力20人・足指力56人の方が受け『一喜一憂』・今回初めての『爪切りコーナー』、『足の爪、女房も切ってくれなかつたのに』と大喜び・・・恒例の『せいしゅん亭ランチ』今年も200食、笑顔で食べる姿にスタッフは感激！来年もお会いしましょう。



9月6日(火)の盛況

もよおし案内

江古田ボランティアネットワーク

ボラネットウォーキング
「夢の島熱帯植物館と夢の島マリーナ」
【日時】 11月11日(金)
午前9時30分〜(雨天実施)

【集合】 中野駅北口広場
【費用】 交通費(800円程度)
入場料(250円 65歳以上半額)

【持ち物】 飲み物、弁当、敷物、健康保険証

【申込み】 11月8日(火) 午前中までに江古田区民活動センターへ ☎(3954) 6963

サロン・江古田

気軽にあひゃべり
しませんか?

【日時】 毎月第3火曜日
10月18日(火)
午前10時〜午後3時

【場所】 江古田区民活動センター
2階ロビー

【参加費】 200円(コーヒー、菓子付)



【主催】 江古田ボランティアネットワーク
☎(5982) 0023

みずの塔ふれあいの家

はつらつ健康体操

後期(11月〜3月)の申込み

【講師】①第1・3木曜日 高橋敏子先生(健康づくりパートナー) 太極拳や気功など、ゆつくりした動きで体を鍛えます。

②第2・4木曜日 野口米子先生(介護予防運動指導員・看護師) 音楽に合わせて楽しく体を動かします。

【対象】区内在住で60歳以上の方

【申込期間】9月30日(金)までの午前10時〜午後5時

(22日(祝)・25日(日)・26日(月)を除く) 定員を超えた場合は抽選

【抽選日】10月20日(木) 午前11時〜

申し込んだ方のみを対象に抽選を行いますので、来館してください。

【受講者発表】10月27日(木)を予定

※詳細はお問い合わせください。

【問合せ】北部すこやか福祉センター(担当:中村・小松)

☎(0338)470000

赤ちゃん木育ひろば

親子で木製のおもちゃで遊びながら、「木育ひろば」を主催する小澤さんから月齢に応じた木のおもちゃの遊び方や効果、木に触れ

ることで育まれる豊かな感性についてなどのお話が聞けます。

【日時】10月21日(金) 午前11時〜正午

※当日直接お越しください。無料。

ふれあいまつり

地域の皆さんや子どもたちが作るいろいろなお店やコーナーが出店するので、家族揃って楽しめます。皆様お誘い合わせの上、来場ください。

詳しくは、11月の「みずの塔」の「つ」をご覧ください。

【日時】11月5日(土) 正午〜午後2時30分

おもちゃの病院 おもちゃドクターが壊れたおもちゃを修理してくれます。修理して欲しいおもちゃを、当日ご持参ください。

【日時】11月12日(土) 受付時間 午後1時30分〜3時

※1家庭2個まで、部品代がかかる場合があります。

おもちゃは乳幼児向けの物から受け付けます。

【問合せ】みずの塔ふれあいの家(中野区江古田1-9-24)

☎(0338)675500

2面中野区クイズの回答

(1)エ、(2)エ

☎(0338)81117

花みずきの会

講習会

「いつまでも安全に食事を楽しむ」摂食とえん下機能について理解を深める

【日時】10月3日(月) 午後1時30分〜3時

【場所】松ヶ丘シニアプラザ(松ヶ丘1-32)

【講師】原沢周日(中野区歯科医師会理事)

【費用】無料 定員40名

【主催】花みずきの会(認知症介護の集い)

【問合せ】海賀 ☎(0395)69700

江原公園リサイクル市

【日時】11月13日(日) 午前10時〜正午

(雨天の場合は翌週20日)

【場所】江原公園(江原町1-15)

【出店料】500円(プロ出店不可)

【申込み】3日前までに江古田区民活動センターへ、または当日直接会場へ

【主催】江古田住区協議会

【問合せ】田代 ☎(0338)81117

集会所の抽選

12月利用分 10月17日(月) 1月利用分 11月21日(月) 地元団体 午前9時から 一般団体 午前10時30分から

はり・マッサージ

60歳以上の区民の方 各会場先着14人まで

・江古田区民活動センター 10月25日、11月22日 毎月第4火曜日

・みずの塔ふれあいの家 10月21日、11月18日 毎月第3金曜日

☎(0395)675500

・松ヶ丘シニアプラザ 10月27日、11月24日 毎月第4木曜日

☎(0338)576100

参加費 900円

てぬぐいをご持参ください 午前9時30分〜午後4時30分

運営委員会だより

【会議】(開催済)

役員会・町会長会議 9/15 地域ニューズ編集会議 8/18

(その他) 老人クラブ会長会、ボランティアネットワーク会

議、地区委員会会議、せいしゅん亭実行委員会、地区まつり実

行委員会等への出席

【事業】(開催済)

ダンベル体操 毎週水曜日 童謡講習会 第2・4金曜日

平和のバトン 7/31(共催) せいしゅん亭 9/6(共催)

チラシづくり講習会 9/8



平和のバトンより

編集後記

平和のバトンで、戦争体験を、皆様の前で披露しました。「もう戦争体験を語る人がいなくなり、私たちの年代になったのか。」と時の流れの速さに驚いています。体験談は確かに戦争の恐ろしさを次代の子どもたちに伝える最高の手段ですが、実体験を語っても、ほんの一部しか伝わらなかつたと思います。言葉の限界が感じられた一日でした。 さて、次回は哲学堂特集を企画しています。哲学堂という、広大な知識の塊をいかににやさしく紙面に載せられるか、ご期待ください。(佐藤)